

令和 7 年
第 7 回定例会議事録

令和 7 年 7 月 23 日

泉大津市教育委員会

令和7年7月23日（水）午前10時より令和7年第7回泉大津市教育委員会
会議定例会を泉大津市役所2階202会議室に招集した。

出席委員

教育長	竹内 悟
教育長職務代理者	澤田 久子
教育委員	西尾 剛
教育委員	池島 明子
教育委員	奥 健一郎

出席事務局職員

教育委員会事務局長	鍋谷 芳比古
教育委員会事務局教育政策課長	大塚 和弘
教育委員会事務局指導課長	藤谷 考志
教育委員会事務局生涯学習課長	中山 裕司
健康こども部こども育成課長	寺田 和夫
教育委員会事務局教育政策課	三上 達朗
教育委員会事務局教育政策課	高岡 愛

案件

日程第 1 報告第19号 泉大津市教育委員会の後援名義使用について

議事録署名委員

教育委員 西尾 剛

※読みやすさ等のため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなど
を整理しています。

会議の顛末

- 竹内教育長 令和7年第7回教育委員会会議定例会の開会宣言
- 令和7年第6回教育委員会会議定例会議事録承認

△日程第 1 報告第19号 泉大津市教育委員会の後援名義使用について

◎教育政策課長（大塚和弘）趣旨は、泉大津市教育委員会の後援等に関する要綱に基づき、後援を承認いたしましたので報告するものでございます。対象期間は令和7年6月1日から6月30日まででございます。内容につきましては2ページ、別紙1をご覧ください。

申請件数が15件で全件を承認しております。

番号6、10、11、14については新規団体及び新規事業でございまして、団体要件として公益法人に準ずる団体、また大阪府内の教員による教科研究、シーパスパークを活用した地域活性化、子どもの体力向上を目的としていること、事業要件として学校教育の発展、盆踊りなどを通じた文化の継承、子どもたちに対する運動機会の提供、不動産に対するリテラシー向上などの事業内容が教育、学術文化及びスポーツの振興に寄与するものであると認められ、近隣で開催されることから広く市民が参加できるもの、かつ主催者に事業遂行能力が認められると判断し承認したものでございます。

番号4、9、15は新規事業でございまして、事業要件としてそれぞれ、研究を通じた親子の繋がりに関する講演、野外活動を通じた協調性やコミュニケーション能力・責任感の醸成、子どもが担うフリーマーケットを通じた金融リテラシーの育成などの事業内容が、教育学術文化及びスポーツの振興に寄与するものであると認められ、近隣で開催されることから広く市民が参加できるもの、かつ主催者に事業遂行努力が認められると判断し承認したものでございます。

◆教育委員（西尾剛）9番の信太山からの脱出について、実施申請団体が青年会議所で、このようなプログラムを専門にしているところではありませんが、危険ということはないのでしょうか。内容はどのようなことをされるのでしょうか。

◎教育政策課長（大塚和弘）自然災害、不審者の出現という架空の状況をつくり出して、そこからミッションをクリアして、安全な場所へ脱出するというような内容のプログラです。

◆教育委員（西尾剛）このような事業をたくさんしている団体だと手慣れていると思うのですが。

◎教育政策課長（大塚和弘）謎解きゲームのようにチェックポイントで、いろんなサバイバルに必要な知識、技術を学ぶことを含めた、ゲーム感覚のイベントです。

◆教育委員（西尾剛）信太山からの脱出と書いているので、上まで登って下りてくるのかと思ったのですが、要するに各ポイントで謎解きをするみたいな感じですね。

◎教育政策課長（大塚和弘）そうです。野外活動センターが会場です。

◆教育委員（澤田久子）14番の、不動産無料一般相談が企業的な感じがしますが、どのような内容なのでしょうか。

◎教育政策課長（大塚和弘）メインは不動産の日に制定されている、9月23日を中心、各都道府県で不動産フェアという形で開催されていまして、そこで一般消費者に対する不動産取引に関する正しい知識を学んでもらうというような趣旨でそこに子どもたちも、体験できるブースなんかも一緒に併設しながら行われるというプログラムです。主催が大阪府宅地建物取引業協会泉州支部です。

◎教育委員（澤田久子）子どもが関わるということで承認されているのかもしれません

せんが、教育委員会が後援名義を出すのはどうなのかなと。

◎教育政策課長（大塚和弘）大人の社会教育という観点もあるかなという趣旨になります。

◆教育長（竹内悟）6月議会で堀口議員から、投資の話などを子ども達にしていかないといけない、学習指導要領にも載っているので、吹田市で実施している子ども達が買い物に使えるコインのようなものを導入できなかという質問がありました。最近は子どもたちに何でも教えていかないといけない。学校も○○教育というものを全てしないといけなくなっていることも、教員の忙しさを増加させているような気がします。だからこのような事業も将来騙されないように教育の一環に繋がっていくのかと思います。

◆教育委員（奥健一郎）ただ、問題はこのような事業を承認した場合に、今後不動産や投資等類似の申請がきて、それを却下した場合、申請団体からどのような線引きをされているのか、過去に類似のものがありましたよねと聞かれた時にどう対応するかは考えないといけないです。

◆教育長（竹内悟）今後いろいろな事業が出てくるかもしれません、一応、事務局としては線引きがありますね。

◎教育政策課長（大塚和弘）はい。

◆教育委員（澤田久子）4番の池川明先生講演会は、池川先生のことをよく知らなくて申し訳ないのですが、どのような講演をするのでしょうか。

◎教育政策課長（大塚和弘）この池川先生は胎内記憶を研究されておられる方で、その研究を通じて、親子の関係について、親ガチャという言葉もありますが、そうではなく、子ども達はお母さんを選んできたんだよという視点での講演です。

◆教育長（竹内悟）西地区は泉大津の西地区ですね。

◎教育政策課長（大塚和弘）そうです。

◆教育委員（奥健一郎）私はそういう意見に個人的に賛成ですが、子どもが親を選んできたんだよというとスピリチュアル系だと捉えられてしまうこともあります。なんでそんな後援をしたのかと言われてもおかしくないと思います。要するに何が言いたいかというと、先ほどと同じですが、どこに線引きをするかが重要だと思います。

◆教育委員（西尾剛）もう少し標題を考えてほしいですね。これだけ見ると何かわからない。

◎教育政策課長（大塚和弘）申請書では事業目的や事業内容をきちんと説明いただいたうえで、承認されています。

※報告第19号終結

午前10時10分終了

議事録署名委員

教 育 長

教 育 委 員